

新たな学校防災教育 学級活動学習指導案

日 時：平成26年 2月18日（火） 6校時

指導者：

場 所： 第4学年1組 教室

1 単元名 自然災害から身を守るために（学級活動）

2 ねらい

○自然災害が起きた場合、どのようにして身を守るのか、また、どのようにして避難するのかを考え、安全な避難行動が取れるようにする。

3 題材設定の理由（資料作成の意図：仙台市教育委員会 新防災教育副読本 指導案例より）

東日本大震災の経験から、災害に備えることの大切さが改めて強調されている。自分の命は自分で守るという「自助」の観点から、危険をあらかじめ予測して取るべき行動を考える活動を通して、地震に限らず様々な危険や災害があることを知り、いざという時に冷静にかつ安全に行動できる能力や態度を育成したい。

4 本時の指導

（1）準備物 仙台市教育委員会 平成25年度版 新防災教育副読本「3・11から未来へ」
文部科学省企画DVD 「安全に通学しよう～自分で身を守る、みんなで守る～」

（2）学習過程

主な学習活動	指導上の留意点・評価
1 本時のめあてを知る。 自然災害から身を守る方法を知ろう。	1 新防災教育副読本 p32, 33 を活用する。
2 自然災害が起きた時、絵の中の危険箇所を考え、ワークシートに書く。 ○絵の中の危ないところ→理由 ・川や用水路→落ちてしまうかもしれないから →雨で水が増えたり、流れが急に変わったり、速くなったりするから ・橋→雨で水の量や速さが変わって流されてしまうかもしれないから ・高い木→雷の時、落ちてくるかもしれないから	2 ワークシートを配布し、絵の中に書き込みながら考えられるようにする。 絵を拡大印刷したものを黒板に掲示し、実際に書き込みながら書き方を説明する。 机間指導しながら、理由について着目し、災害ごとに様々な視点から考え、危険箇所を見付けられるように助言する。
3 絵の中の危険箇所について話し合う。	3 教師は、大雨、大雪、雷、竜巻などの自然災害が起きた場合のそれぞれの危険箇所について意図的に指名し、意見をまとめる。
4 DVDを視聴し、災害から身を守るための行動を学ぶ。 ○大雨のとき ○大雪のとき ○雷のとき ○竜巻のとき	4 それぞれの自然災害について、いつでも、だれでも、どこにいても起こりうるものだという認識を持たせる。
5 それぞれの自然災害時の行動を確かめる。	5 DVDの内容をふり返り、板書してまとめる。最も大切なのは、「自分の命を守ること」

<p>○雨が強くなったら→川や用水路から離れる がけ崩れや土石流に注意する</p> <p>○雷が聞こえたら→自転車から降りて、建物に入る</p> <p>○竜巻かと思ったら→コンクリート等の頑丈な建物に入る</p> <p>6 様々な場所にいる時に自然災害が起きた場合の行動を話し合う。</p> <p>○桂にいたら→地震、大雨、雷、竜巻に注意する</p> <p>○川の近くにいたら→特に大雨や津波に注意する</p> <p>○海の近くにいたら→特に大雨や津波に注意する</p> <p>○山にいたら→地震や大雨によるがけ崩れや土石流に注意する。(大雪の際は雪崩)</p> <p>7 自然災害から身を守るために大切なことを確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天気の変化に注意する ・様々な場所での行動を考えておく ・天気予報や土砂災害警報などの情報を集めておく ・時には中止や切り上げて避難する決断も大事 ・学校の避難訓練にもしっかりと取り組む 	<p>であることを確認する。</p> <p>6 場所によって行動を変えることや、事前に予測することの大切さに気付かせる。</p> <p>7 学習内容をふまえ、あわてず落ち着いて行動したり、「～かもしれない。」と周囲の状況を予測して行動したりすることなど、自分が具体的に実行することをワークシートに書かせる。</p> <p>自助だけでなく、共助の考えにつながる行動を書いたものを紹介する。</p>
--	---

(3) 評価規準

A	災害時は場所によって行動を変え、自分だけでなく、周りの人たちの身を守るための行動を正しく理解している。
B	災害時は場所によって行動を変え、自分だけでなく、周りの人たちの身を守るための行動を考えることができる。
C (支援)	板書や副読本を活用し、災害時の行動を考えて自分の身を守るための行動を確かめさせる。

(4) 板書計画

<p>自然災害から身を守る方法を知ろう</p> <p>自然災害が起きた時にあぶない所は？</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <p>副読本 p 32 の図</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○川や用水路→大雨 <ul style="list-style-type: none"> ・水が増える ・流れが変わる，速くなる ○橋→大雨 <ul style="list-style-type: none"> ・水が増えて通れなくなる ・流されてしまう ○高い木→大雨，雷，竜巻 <ul style="list-style-type: none"> ・雷が落ちてくる ・枝などが飛ばされる 	<ul style="list-style-type: none"> ◎大雨がふってきたら <ul style="list-style-type: none"> ・山やがけに近づかない ・地下鉄やビルの地下などから出る ・用水路や川に近づかない ◎雷が聞こえたら <ul style="list-style-type: none"> ・がんじょうな建物に入る ・できるだけ姿勢を低くする ×木の下 ・自転車からすぐにおりる ◎竜巻かと思ったら <ul style="list-style-type: none"> ・がんじょうな建物（物かげ）に入る ・できるだけ姿勢を低くする ・飛ばされるものや窓に注意する
--	--	---